

わたしの気分は お天気しだい

～第5巻～

著者：真砂達也(まさごたつや)



※内容アピール用サンプル※
商品は白黒印刷です

まぐまぐ！文庫

初版

<目次>

サンプル

1章. 動物や植物たちの本当の姿

牧草（ぼくそう）の本当の姿	2 ページ
マメの本当の姿	6
ウリの本当の姿	10
ナスビの本当の姿	15
タネなし果物（くだもの）の本当の姿	20
タコとイカの本当の姿	24
ペンギンの本当の姿	30
綿毛（わたげ）の本当の姿	35
蝶（ちょう）と蛾（が）の本当の姿	43

2章. 自然（しぜん）の本当の姿

津波（つなみ）の本当の姿	50 ページ
雷（かみなり）の本当の姿	55
海底（かいてい）の本当の姿	59

サンプル

3章. そのほかの意外なお話

色（いろ）の本当の姿	69 ページ
------------	--------

※サンプルとして、2つの記事のダイジェストを載（の）せています。

『牧草（ぼくそう）の本当の姿！』

◆【記事掲載】66号 2004年05月19日発行 ◆

今日は、『牧草（ぼくそう）』のお話です。

牧草は、「牛や馬のエサにする草」のことです。

主な牧草は、牛や馬に食べさせるために、明治時代に海外から輸入されました。私たちとあまり関係が無いと思われるかもしれませんが、意外と身近な草たちです。

下の順番で、ご紹介します。

■牧草には、どんな草があるの？

■野遊びの思い出

■金子みすゞさんの詩 『げんげ』と『芝草（しばくさ）』

■四葉のクローバーを探すコツは？

■レンゲとハチミツ

■牧草と農業



～■1■ 牧草には、どんな草があるの？～

主な牧草には、次のものがあります。

■レンゲ

■クローバー

■アルファルファ

『レンゲ』は、花の形が蓮（はす）の花に似ていることから名前が付けられました。

黄色い菜の花と同じように、レンゲの赤い花は、田畑に春を知らせてくれますね。

『ゲンゲ』とも呼ばれます。

『クローバー』は、日本語で『シロツメクサ』と言います。

『クローバー』ろそっくりで、花の色が赤い『アカツメクサ』もあります。

『アルファルファ』は、牧草というよりも、野菜のイメージが強いですね。

『アルファルファ』は、スペイン語らしいです。

実は、この3つの草は全部、マメ科です。

マメ科については、次回に別の見方でご紹介します。



～■2■ 野遊びの思い出～

私が子供の頃は、春の野原で女の人と遊ぶと、草花でカンムリやネックレスを作っていました。

その時に良く使ったのは、レンゲやシロツメクサの花でした。

また、レンゲの花の根元を口で吸って、甘いミツの味をチョビッと楽しんだりもしていました。

『海底（かいてい）の本当の姿！』

◆【記事掲載】 117号 2005年05月25日発行 ◆

私たちの住んでいる日本という国は、周（まわ）りを海に囲まれた島国です。そこで、今回は海について色々なお話をします。

内容は、次の通りです。

■『地球』は『水球』

■海の水は、どこから来たの？

■地球で一番高い山は、どこにある？

～＜資源と海＞～

■海水は宝の山だ

■『燃（も）える水』と『燃える氷（こおり）』

～＜海と伝説＞～

■『魔（ま）の海』は、本当にあるの？

■アトランティス大陸やムー大陸は、本当にあったの？

～＜海と生き物＞～

■海は『生命（いのち）のゆりかご』

■二酸化炭素は、どこにたくさんあるの？

■【新しい知識！】ウナギの大旅行

♪

♪

♪

～■1■ 『地球』は『水球』～

私たちが住んでいる星は、日本語で『地球（ちきゅう）』と呼ばれています。たしかに地面の下を掘（ほ）っていくと、土や岩（いわ）の塊（かたまり）だと言われていいますので、『土の玉』という意味の『地球』は星の中身を示す良い名前です。

※おまけ※

ただし一部の学者は、「地面の下に大きな空洞（くうどう）がある」と考えていました。

でも、私たちが住んでいる地球の表面は、土でできた陸地は30%しかなく、残り70%は海です。

だから、星の見た目で名前をつけるなら、『土の玉』の『地球』よりも、『水の玉』の『水球』になるでしょう。

では、どうしてこの星の名前は『地球』になったのでしょうか？

それは、昔の人は「地球の見た目が陸地よりも海が広いこと」や、「地球の中身が石や岩でできていること」を知らなかったからです。

だから、私たちが海の上ではなく地面の上に住んでいるので、『地面』を表す言葉を星の名前にしました。

同じように、ヨーロッパで使われているロマンス諸語（しよご）の『t e r r

a (てら)』や英語の『earth (あーす)』は、『地面』を表す言葉ですが、あとで『地球』も意味するようになりました。

※ロマンス諸語 (しょご) :

昔のイタリア語を『ラテン語』と呼びます。

ラテン語がヨーロッパ各地に伝わり方言 (ほうげん) になまってできたのがロマンス諸語です。

フランス語、スペイン語、イタリア語、ルーマニア語などがあります。

英語やドイツ語、オランダ語、ノルウェー語などは『ゲルマン諸語』と呼びます。

♪

♪

♪

～■2■ 海の水は、どこから来たの?～

では、地球の表面の70%も覆 (おお) う大量の海の水は、どこから来たのでしょうか?

いくつかの説がありますので、ご紹介します。

■■説1 『地球の中から、海の水は吐 (は) き出された』■■

これは、教科書に載 (の) っている考え方です。

今でも火山が噴火 (ふんか) すると、溶岩 (ようがん) や灰 (はい) といっしょに、大量の水蒸気 (すいじょうき) が地球の中から吐 (は) き出されます。

※水蒸気 (すいじょうき) :

水が温 (あたた) められて気体になった『湯気 (ゆげ)』のことです。

できたばかりの地球は熱くてドロドロした岩の塊 (かたまり) で、火山は噴火を続けていました。

噴火のたびに、水蒸気といっしょに吐 (は) き出されたガスがたまって、窒素 (ちっそ) と二酸化炭素 (にさんかたんそ) だけの原始の空気ができました。この水蒸気が数億年分たまって分厚い雲になり、やがてものすごい雨が降 (ふ) り続き、地面に雨がたまって海になりました。

おそらく、分厚い雲ができて雨が降り続けている間は、地球の地面からは、太陽や月や星は見えなかったでしょう。

そのあとで、陸地と海が分かれて植物が生まれたころから、空気の中に酸素 (さんそ) がたまって、動物が生まれました。

サンプル版では、ここまでです。

<<あとは、お買い上げ後のお楽しみです。>>

お買い上げ方法：

【1つ目の方法】 本の定価 840円 + 本屋さんまでの交通費

この本は、『まぐまぐ!POD』という新しい本の売り方を使っています。



この下の本屋さんに行って、「『まぐまぐ!POD』の本を下さい」と注文すると、その場で印刷して本を作って売ってくれます。

お近くの本屋さん：

■旭屋書店京都店 ■ <<京都府と滋賀県にお住まいの場合>>

JR京都駅前にある『プラッツ』《昔の近鉄デパート》5F

※この方法で買える本屋さんは、日本全体でもまだ13しかありません。

【2つ目の方法】 本の定価 840円 + 送料 315円

インターネットで、通信販売もできます。

ホームページのアドレスは、下の通りです。

<http://ebook-print.com/ebook/>

『まぐまぐ!POD』のアイコンをクリックして下さい。

支払いはクレジットカードで、送料が315円だけ別にかかります。

お届けには1週間くらいかかります。

読者さんの感想：＜第1巻について＞

- ハリーポッターよりも、親戚（しんせき）の子供たちに読ませたいので、あと3冊（さつ）を送ってください。続きも予約します。
（福岡県・元教員 Oさま）
- 『ほうほう、ふむふむ』とうなずきながら、読ませていただきました。
（北海道・会社員 Oさま）
- 読んで、すごく楽しかったです！子供にも読みやすいし、『ついに本を出したか！！』という感じです！
（埼玉県・自由業 Kさま）
- 読みやすいので、学校の行き帰りに読ませていただこうと思いました。
（神奈川県・大学生 Yさま）

■参考文献■

- (1)「エンタカルタ総合大百科 2003年版」…マイクロソフト株式会社
- (2)「広辞苑 第5版」……………株式会社システムソフト
- (3)「百科事典マイペディア」……………株式会社日立システムアンドサービス
- (4)「毎日新聞 朝刊」……………毎日新聞株式会社

※毎日新聞の記事を参考にした場合は、記事が載っていた日付を、都度示しています。

※インターネットに公開されている情報を参考にした場合は、そのホームページのURLを、都度示しています。

わたしの気分はお天気しだい 第5巻＜サンプル版＞

発行： 2005年 7月 2日…サンプル版＜書店展示用＞作成

著者： 真砂（まさご）達也

ホームページ： <http://www.h6.dion.ne.jp/~otenki/>

非売品